【１】2016　東京学芸大学（前期）　大問２　問10

｢北虜南倭｣のように呼ばれる事態について，「北虜」と「南倭」の示す意味に必ず言及しつつ，140字以内(句読点等を含む)で述べよ。

解答例

　明は朝貢貿易以外の交易を禁止する海禁政策をとっていたが，国際商業が活性化する中，交易の拡大を望む近隣勢力や国内商人の不満が高まり，「北虜」と呼ばれたモンゴルのアルタン＝ハンなどによる北方からの侵攻や，｢南倭｣と呼ばれた倭寇による東南海岸での密貿易や略奪が激化して明を苦しめた。(138字)

配点：７点

①背景(２点)

　・明は交易を制限(朝貢貿易以外を禁止・海禁政策の実施)　 …１点

　・交易の拡大を求める勢力の不満 …１点

②北虜南倭の説明(４点)

　・「北虜」はモンゴル(タタール・アルタン＝ハン）の侵攻 …２点

　・「南倭」は東南海岸での倭寇による密貿易行為 …２点

③影響(１点)

　・明を苦しめた …１点

【７】　2011　名古屋大学(前期)　大問４

今日の世界を成り立たせている基本的システムは西欧の近代に起源するものであるが，その西欧の近代が確立する上で， 17世紀という時期がはたした役割は大きかったであろう。イギリスの革命，また重商主義政策とそのための植民地獲得，あるいは後の産業革命や啓蒙思想の前提となる近代的世界観の確立など， 17世紀は西欧による世界支配を直接に準備した時期であった。ならばこの17世紀，ユーラシア大陸の東部で，西欧とは異質の文明を持続させていた中国は，政治的，経済的，文化的にどのような状態にあったのか。そこにはどのような変化があり，あるいはなかったのか， 350字以内で説明しなさい。

解答例

　政治的には漢民族国家である明が滅亡し，満州人の清が中国全土を支配した。清は科挙や官制など，明の諸制度を継承する一方で，満州人の習俗である辮髪を強制し，軍制では八旗制を導入して漢民族部隊の緑営を創設した。経済的には，長江下流域を中心に絹織物や陶磁器が盛んに生産され，中流域は穀倉地帯となっていたが，清初には氏台湾への対抗策として海禁策がとられたことなどから，貿易は低調であった。しかし，三藩の乱の鎮圧と鄭氏台湾の降伏で清による支配が安定すると，海禁が解除されて海上貿易が発展した。文化的には，明・清ともに儒学を保護し，明末に生まれた考証学は清に継承されたが，文字の獄による反清思想の取り締まりも行われた。また，17世紀にはイエズス会の宣教師が中国で活動し，西洋の学問・技術，絵画の技法などが伝えた。(349字)

配点：18点

　①政治的状況(７点)

　　・明から清への交替　　　 …２点

　　・清が北方民族(満州／女真人)の王朝であること　　　 …１点

　　・清は明の制度を継承　　 …１点

　　　　・科挙や官制(税制)などの具体例を示す　　 …１点

　　・辮髪の強制　　 …１点

　　・軍制では八旗・緑営を導入　 …１点

　②経済的状況(７点)

　　・長江下流域域では絹織物や陶磁器などを生産　 …１点

　　・長江中流域が穀倉地帯であった …１点

・海禁(遷界令)を実施→貿易は低調　 …１点／１点

　　・清の支配の安定で海禁解除→海上貿易の発展 　 …１点／１点

　　　　・解禁の実施・解除の背景に氏台湾があった　 …１点

　③文化的状況(４点)

　　・明・清ともに儒学を保護　　 …１点

　　・考証学の名をあげる …１点

　　・イエズス会の宣教師が活動→西洋文化を伝える　 …１点／１点

【13】　2009　首都大学東京(前期)　大問３　問１

　清朝が「飴と鞭」の政策を使い分けることによって，圧倒的多数を占める漢族を統治したことについて具体的な事例を挙げて，130字以内で説明しなさい。

解答例

飴に当たる懐柔策として，漢族による中国王朝の伝統を尊重し，儒学を振興して『四庫全書』などの大編纂事業を行い，満漢併用制によって漢族を要職に登用した。一方で鞭に当たる威圧策も行い，漢族男性に満州人の習俗である辮髪を強制し，文字の獄によって反清的言論を弾圧した。 (129字)

配点：６点

　①「飴」の内容(３点)

　　・儒学の振興・大規模な編纂事業→中国の伝統を尊重 …１点・１点

　　・満漢併用制 …１点

　②｢鞭｣の内容(３点)

　　・辮髪の強制 …１点

　　・文字の獄→反清的言論の弾圧 …１点・１点

【18】2011　成城大学　社会イノベーション学部　大問２　問３

オスマン帝国の確立に寄与した制度として，世界史的には，軍団の兵員構成や軍事封土の特徴も指摘されている。そのことに関連して，オスマン帝国の二種類の軍団について100字以内で説明せよ。ただし，句読点は1字とせよ。

解答例

　シパーヒーはトルコ系の騎士軍団で，従軍の代償に土地の徴税権であるティマールを与えられた。イェニチェリは，キリスト教徒の子弟を徴用し，イスラームに改宗させた歩兵部隊で，スルタンの常備軍であった。(96字)

配点：５点

①シパーヒー(２点)

・シパーヒー(or騎士軍団）の語を示す　　 …１点

・従軍の代償に土地の徴税権であるティマールを獲得　 …１点

②イェニチェリ(３点)

・イェニチェリの名を示す　 …１点

　・スルタンの常備軍(or親衛隊／直属の軍)の歩兵部隊であること …１点

　・イスラームに改宗させたキリスト教徒の子弟からなること　 …１点

【１】　2016　大阪大学(前期)　大問３　問２ 問題文変更

　ブラジル原産のキャッサバは，西アフリカと交易関係があったポルトガル人によってアフリカ大陸にもたらされ，食料としての栽培が始まったとされている。このようなキャッサバ普及の背景にあった15～16世紀のポルトガルの交易活動について，以下の用語をすべて使って説明しなさい（100字程度）

　ベニン（ベナン）　象牙　アシエント

解答例

　ポルトガルは象牙や金を求めてアフリカ西岸に進出していたが，スペインから奴隷供給契約であるアシエントを獲得すると，ベニン王国などで獲得した黒人奴隷を先住民に代わる労働力としてラテンアメリカに運んだ。(98字)

配点：５点

　・ポルトガルは西アフリカで象牙を入手　 …1点

　・スペインからアシエントを獲得 …1点

　　・アシエントが奴隷供給契約であること …1点

　・ベニン(ベナン)王国などで黒人奴隷を獲得 …１点

　　→労働力としてラテンアメリカに運ぶ　 …１点

【２】　2015　愛知教育大学　大問３　問３ 問題文変更

　以下の語句と年号を用いて，15世紀におけるヨーロッパ諸国の海外進出の経過を260字以内で説明せよ。使用した語句には下線を付せ。句読点も文字数に含めよ。

　レコンキスタ　1498年　喜望峰　カリカット　胡椒　エンリケ航海王子

　1488年　オスマン帝国

解答例

　レコンキスタを行ったポルトガルとスペインはキリスト教の海外布教に意欲的であり，一方でオスマン帝国経由で輸入される高価な胡椒をアジアと直接取引することも望んでいた。ポルトガルは，エンリケ航海王子がアフリカ西岸の探検事業を進め，1488年にバルトロメウ＝ディアスがアフリカ南端の喜望峰に到達した。1498年にはヴァスコ＝ダ＝ガマがカリカットに到達してインド航路を開拓した。スペインは，1492年にコロンブスが西回りで新大陸に到達した。両国は1494年のトルデシリャス条約で勢力範囲を画定し，1500年にはカブラルがブラジルをポルトガル領とした。(260字)

配点：13点

①海外進出の背景(４点)

　・キリスト教の海外布教への意欲 　 …１点

　　　…レコンキスタを行っていたため　 …１点

　　　※レコンキスタは②・③で言及していても可。ただし，加点は①の４点の範囲内で行い，二重に加点はしない

　・胡椒をアジアと直接取引することを求める　 …１点

　　　…オスマン帝国経由で輸入されるために高価なので …１点

②ポルトガル(５点)

　・ポルトガルを挙げる …１点

　・エンリケ航海王子がアフリカ西岸の探検事業を進める　 …１点

　・1488年にバルトロメウ＝ディアスが喜望峰到達 …１点

　・1498年にヴァスコ＝ダ＝ガマがインドのカリカット到達 …１点

　　　→インド航路開拓 …１点

　　※カブラルがブラジルをポルトガル領としたことにふれられていれば②の５点の範囲内で１点を加点する

③スペイン(３点)

　・スペインを挙げる　 …１点

　・コロンブスが／新大陸に到達　 …１点／１点

④両国の調整(１点)

　・トルデシリャス条約で勢力範囲を画定　 …１点

【８】　2015　國學院大學　文学部　大問２　問３

ルターの行った宗教改革の経緯について，次の語句すべてを用いて400字以内で説明しなさい。なお，語句はどの順番で何度用いても構わないが，それぞれ最初に使用したところには，必ず下線を施しなさい。(例：五賢帝の最初はネルヴァであった。)

　アウクスブルクの宗教和議　　ヴィッテンベルク　　ヴォルムス　　カール５世

　『キリスト者の自由』　　九十五カ条の論題　　『新約聖書』のドイツ語訳

　レオ10世　1517年

解答例

　教皇レオ10世は，サン＝ピエトロ大聖堂の新築資金調達のために贖宥状を販売していた。ヴィッテンベルク大学の神学教授であったルターは，これを批判して1517年に九十五カ条の論題を発表し，宗教改革が始まった。ルターは『キリスト者の自由』を著して信仰義認説を主張したが，教皇から破門され，皇帝カール５世はルターをヴォルムスの帝国議会に呼び出した。ルターは自説の撤回を拒み，ザクセン選帝侯の保護下で『新約聖書』のドイツ語訳を行った。ミュンツァーが指導したドイツ農民戦争では，ルターは当初農民に同情的だったが，農民が社会変革を訴えて急進化すると弾圧を支持した。イタリア戦争やオスマン帝国の侵攻に苦しむカール５世は，ルター派を一時的に認めることもあったが，両者の対立はシュマルカルデン戦争に発展した。1555年のアウクスブルクの宗教和議によって，諸侯がカトリックかルター派を選び，領民はそれに従うという原則が確立された。(398字)

配点：20点

①宗教改革の開始(４点)

　・レオ10世による贖宥状の販売 　　 …１点

　　　…サン＝ピエトロ大聖堂の新築資金調達　　 …１点

　・ヴィッテンベルク大学のルターが反発 …１点

　　　→1517年に九十五カ条の論題を発表して批判 …１点

②宗教改革の展開(13点)

　・ルターが『キリスト者の自由』を著す …１点

　　　…信仰義認説(or「人は信仰によってのみ義とされる」) 　 …１点

　・教皇はルターを破門 …１点

　・皇帝カール５世はヴォルムスの帝国議会にルターを呼び出し …１点

　　　→ルターは自説の撤回を拒む …１点

　・ザクセン選帝侯がルターを保護 …１点

　　　→ルターは『新約聖書』のドイツ語訳を行う …１点

　・ドイツ農民戦争 …１点

　　　・ルターは当初農民に同情的だったが農民の急進化を機に鎮圧側に回る…１点

　・カール５世は一時的にルター派を承認　　　　　　　　　　　　 …１点

　　　…イタリア戦争(orオスマン帝国の侵攻)に対処するため　 …１点

　・シュマルカルデン戦争 …１点

　　　…カトリックとルター派の軍事衝突 …１点

③ルター派の承認（3点）

　・アウクスブルクの和議 　 …１点

　　　…諸侯がカトリックかルター派を選択 …1点

　　　　　　→領民はそれに従う(or個人に選択権はなかった) …１点

【９】　2009　明治大学　政治経済学部　大問4

同じく16世紀の宗教改革といっても，ルタ一派，カルヴァン派，イギリス国教会の間にはさまざまな相違点がある。これらプロテスタント3派それぞれの，他の2派と比べての特徴を， ①教義ないしは教会組織， ②伝播地域， ③主たる支持層，という観点から，200字以上250字以内で説明しなさい。（解答は横書きとし，括弧や句読点は1マス1字に数え，また数字を用いる場合には1マス2字とする。）

解答例

　ルター派は，福音信仰を重視したがカトリックと同じ司教制度を残した。ドイツや北ヨーロッパに広まり，皇帝と対立する諸侯を中心に，都市の市民，農民に受け入れられた。カルヴァン派は，司教制度を廃して長老制度を導入し，予定説に基づいて職業労働と営利を肯定した。このため，西ヨーロッパの商工業者に広く支持された。イギリス国教会は，教義の面ではカルヴァン派に近いが，首長はイギリス国王で，司教制度や儀式などにはカトリック的要素が残っており，イギリス国内の貴族や大地主，特権商人に支持され，イギリスの植民地にも広まった。(241字)

配点：12点

①教義・教会組織(６点)

　・ルター派(２点)

　・福音信仰(or福音主義) 　　…１点

　　　　※「救済は善行ではなくイエスのことばを信じることによる」のように内容で示しても可

　　・司教制度の維持 …１点

　・カルヴァン派(２点)

　　・予定説(or職業労働(or営利)を肯定) 　…１点

　　・長老制度を導入 …１点

　・イギリス国教会(２点)

　　・教義はカルヴァン派に近い …１点

　　・司教制度や儀式にはカトリックの要素を残す　…１点

　　※「イギリス国王を首長とする」の内容が示されていれば，「イギリス国教会」の２点を超えない範囲で１点を加える。

②伝播地域(３点)

　・ルター派：ドイツ・北ヨーロッパ 　…１点

　・カルヴァン派：西ヨーロッパ …１点

　・イギリス国教会：イギリスとその植民地 …１点

③主たる支持層(３点)

　・ルター派：反皇帝の諸侯 …１点

　　　　　　　※都市の市民や農民のみを示したものは加点しない

　・カルヴァン派：商工業者 …１点

　・イギリス国教会：貴族や大地主，特権商人のうちから２つ挙げる　…１点